



令和6年度当初予算(案)がまとまりました

重点戦略をバージョンアップ!

未来創造積極予算

一般会計予算(案)
2530億円

令和6年度当初予算(案)の一般会計の予算規模は、2530億円で、5年度予算に比べ、158億円(6.6%)の増となりました。一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、3719億4500万円となっています。

予算編成の考え方

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行したものの、区民生活や中小企業の経営は物価高騰などの影響を受け、厳しい状況が続いています。

区は、区民の安心・安全を最優先に、生活や地域経済に影響する緊急課題に対し、スピード感・柔軟性を持つ的確に対応していきます。さらに、「東京で一番住みたくなるまち」の新たなステージに向けて、「SDGs(持続可能な開発目標)戦略」「デジタルトランスフォーメーション(DX)戦略」「ブランド戦略」の3つを柱とする重点戦略のバージョンア

ップを図り、「いたばしNo.1実現プラン2025改訂版」の着実な実現に取り組みます。

そのため、激変する社会情勢が区民生活に及ぼす影響や、歳入歳出両面から区の財政状況を把握し、将来の区政運営を見据えて、創意工夫を重ねることで区政課題の解決を図る、積極的な予算編成を行いました。※本予算(案)は、令和6年第1回区議会定例会で審議されます。編成過程など詳しくは、区ホームページをご覧ください。



令和6年度当初予算(案)概要

区分	令和6年度	令和5年度	伸び率	
一般会計	2530億円	2372億5000万円	6.6%	
特別会計	国民健康保険事業	554億6000万円	558億3000万円	△0.7%
	介護保険事業	475億1800万円	463億7300万円	2.5%
	後期高齢者医療事業	151億9000万円	142億4900万円	6.6%
	東武東上線連続立体化事業	7億7700万円	4億4000万円	76.6%
合計	3719億4500万円	3541億4200万円	5.0%	

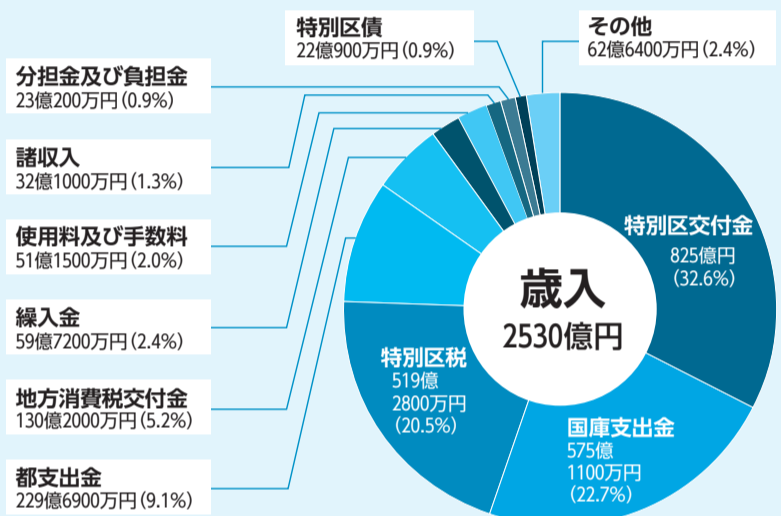
※伸び率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

不合理な税制改正に対する区の見解

国は、「地方創生の推進」「税源偏在是正」の名のもと、法人住民税の一部国税化、地方消費税の清算基準の見直し、ふるさと納税などの不合理な税制改正により、区の貴重な税源を一方的に奪っています。また、「税源の偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築

に向けて取り組む」とし、東京から更なる税源を吸い上げる動きが表面化しています。区では、都・特別区長会と連携し、地方固有の財源を不当に奪う税制改正の方向性を改め、国の責任で地方税財源の拡充を図るよう、引き続き強く要望していきます。

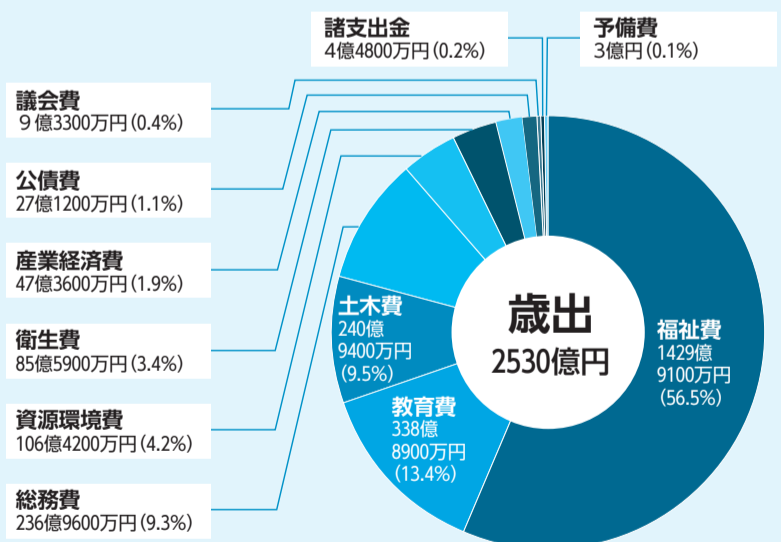
歳入(一般会計)



歳入予算の特徴

- 特別区交付金は、固定資産税の増などにより、63億円の増収を見込んでいます
- 特別区税は、納税義務者数の増などにより、13億円の増収を見込んでいます
- 繰入金は、予算編成に必要な財源に充てるため、財政調整基金から25億円繰り入れました。また、区営住宅や小・中学校の改築工事などに充てるため、各基金から35億円繰り入れました

歳出(一般会計)



歳出予算の特徴

- 福祉費は、施設介護給付をはじめとした自立支援給付経費の増などにより、61億円の増額となりました
- 土木費は、区営住宅の改築や都市計画道路整備の事業進捗などにより、26億円の増額となりました
- 衛生費は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う事業の終了などにより、32億円の減額となりました
- 教育費は、学校給食費無償化や小・中学校の改築・改修工事などにより、41億円の増額となりました

問合せ 財政課 ☎ 3579-2030

主な事業は2面をご覧ください

3月31日(日)で新型コロナワクチンの無料接種を終了します

接種を希望する場合は、早めに医療機関へ予約をお願いします。
問=板橋区新型コロナワクチンコールセンター ☎ 0120-985-252(9時~18時)